

結果

1. グループ別出現率

(1) 4区分のグループ

世帯票に記載された全世帯人員のうち **60歳以上の者**について集計を行った。
以降は、入院もしくは入所中の者と健康状態が不詳の者を除いた者を母集団として、
集計分析を行った。

・60歳以上の人の人数(人)

	国民生活基礎調査
在宅生活者	34,248,000
入院もしくは入所中	1,947,000
不詳	
総数	36,195,000

**本調査の集計対象
の母集団**

・在宅生活をしている60歳以上高齢者の出現率(パーセント表示)

		経済状態		合計
		良い	悪い	
健康 状態	良い	65.7%	9.3%	75.0%
	悪い	20.5%	4.5%	25.0%
合計		86.2%	13.8%	100.0%

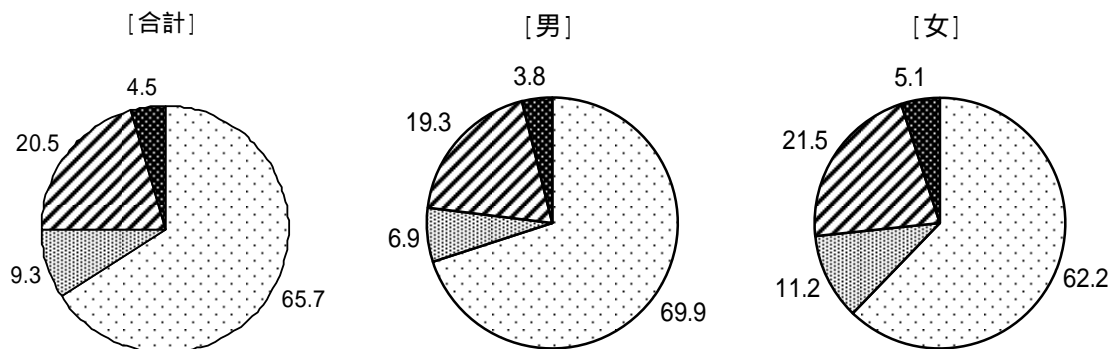
・在宅生活をしている60歳以上高齢者の出現率(推計人数/人員10万)

健康状態		経済状態		合計
		良い	悪い	
良い		65,726.0	9,252.1	74,978.1
悪い		20,490.9	4,531.0	25,021.9
合計		86,216.9	13,783.1	100,000.0

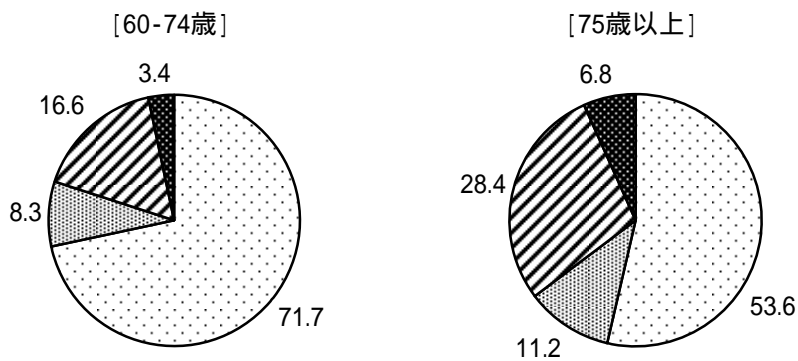
(2) 属性別のグループ構成比

性別にみると、「1.健良・経良」は「男性」69.9%、「女性」62.2%となっている。

年齢別にみると、「1.健良・経良」は「60 - 74 歳」71.7%に対して、「75 歳以上」53.6%と差がある。「3.健悪・経良」は「60 - 74 歳」16.6%に対して「75 歳以上」は 28.4%であり、健康状態は年齢が関係している。

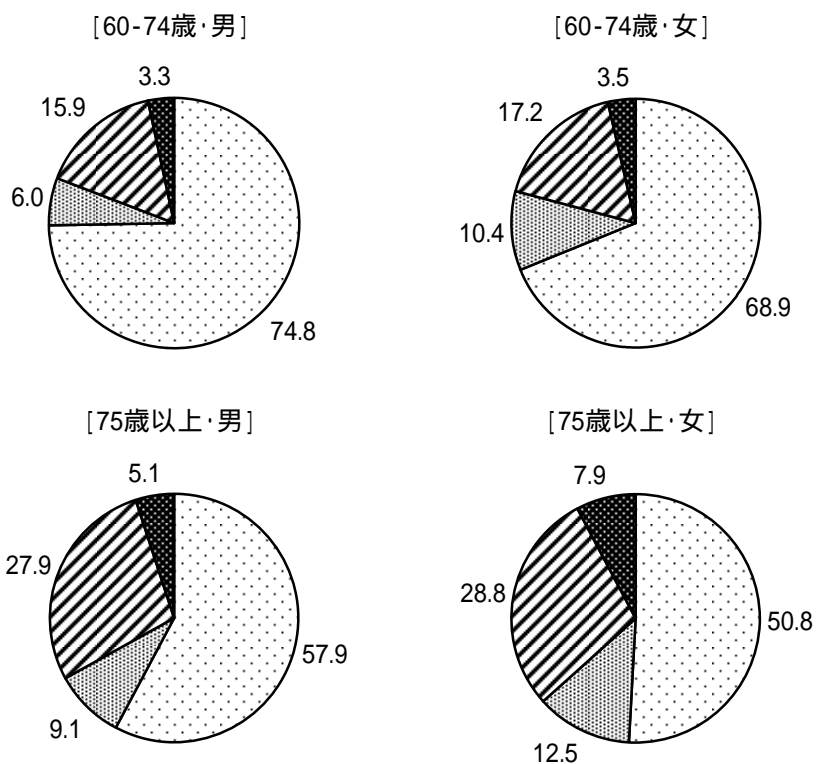


□ 1.健良・経良 ■ 2.健良・経悪 ▨ 3.健悪・経良 ■ 4.健悪・経悪



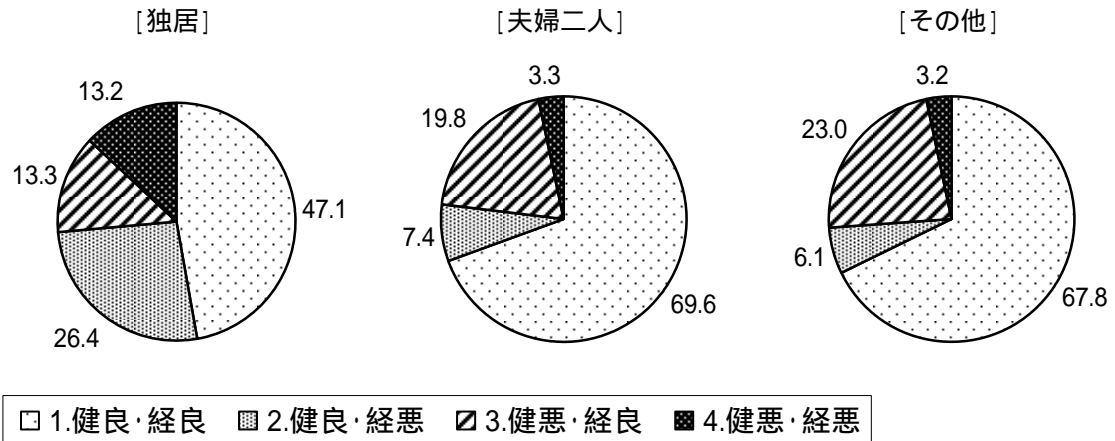
□ 1.健良・経良 ■ 2.健良・経悪 ▨ 3.健悪・経良 ■ 4.健悪・経悪

年齢・性別にみると、いずれの性・年代においても「1.健良・経良」が最も多いが、「75歳以上」になると男女とも50%台となる。「4.健悪・経悪」は「75歳以上・女」で7.9%と他の属性よりも多い。

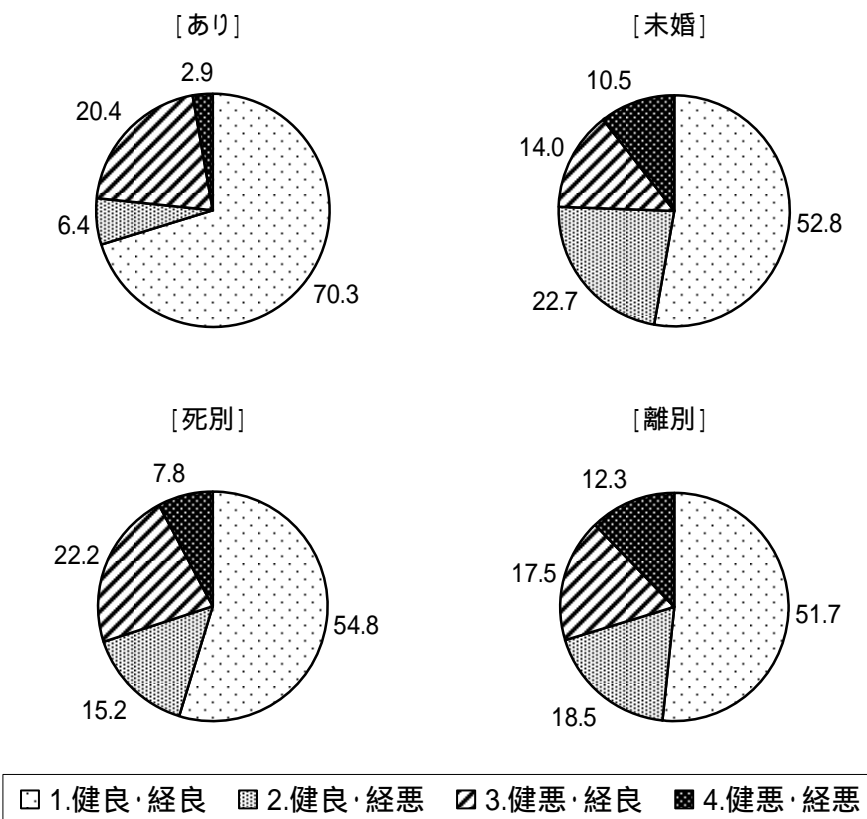


□ 1.健良・経良 ▨ 2.健良・経悪 ▩ 3.健悪・経良 ■ 4.健悪・経悪

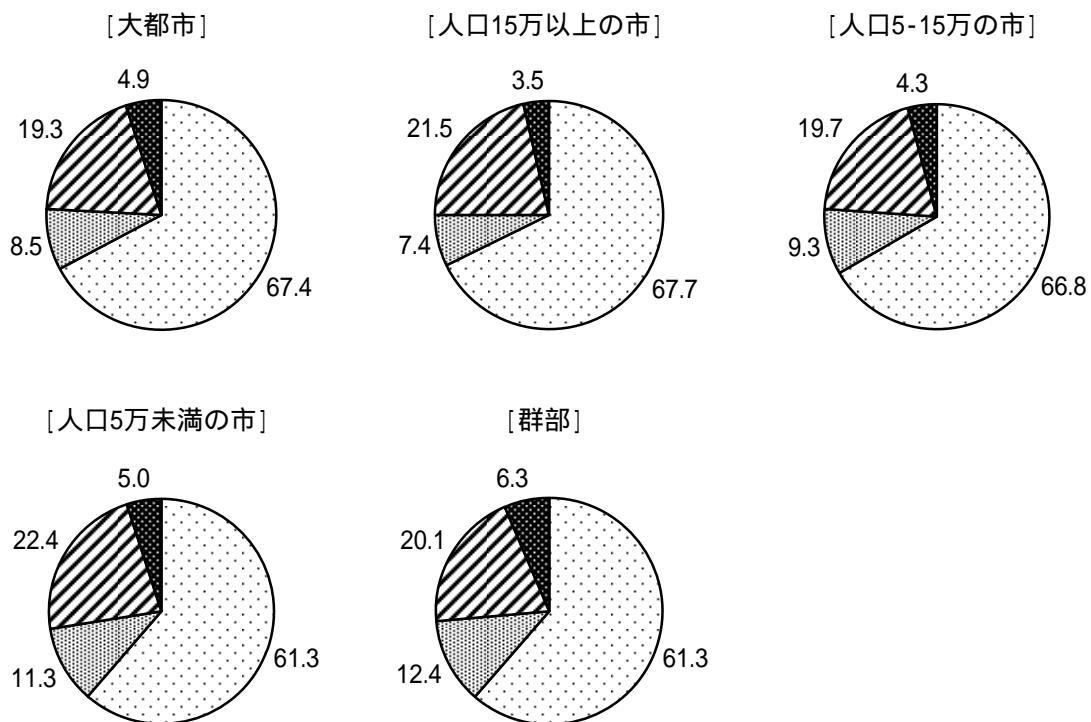
どの家族形態においても「1.健良・経良」が最も多いが、「独居」は47.1%、「夫婦二人」69.6%、「その他」67.8%に比べて少ない。一方、「2.健良・経悪」26.4%、「4.健悪・経悪」13.2%はが多くなっている。



配偶者の有無別にみると「1.健良・経良」が最も多いが、「配偶者あり」は70.3%と7割台で、「未婚」52.8%、「死別」54.8%、「離別」51.7%と比べて高くなっている。

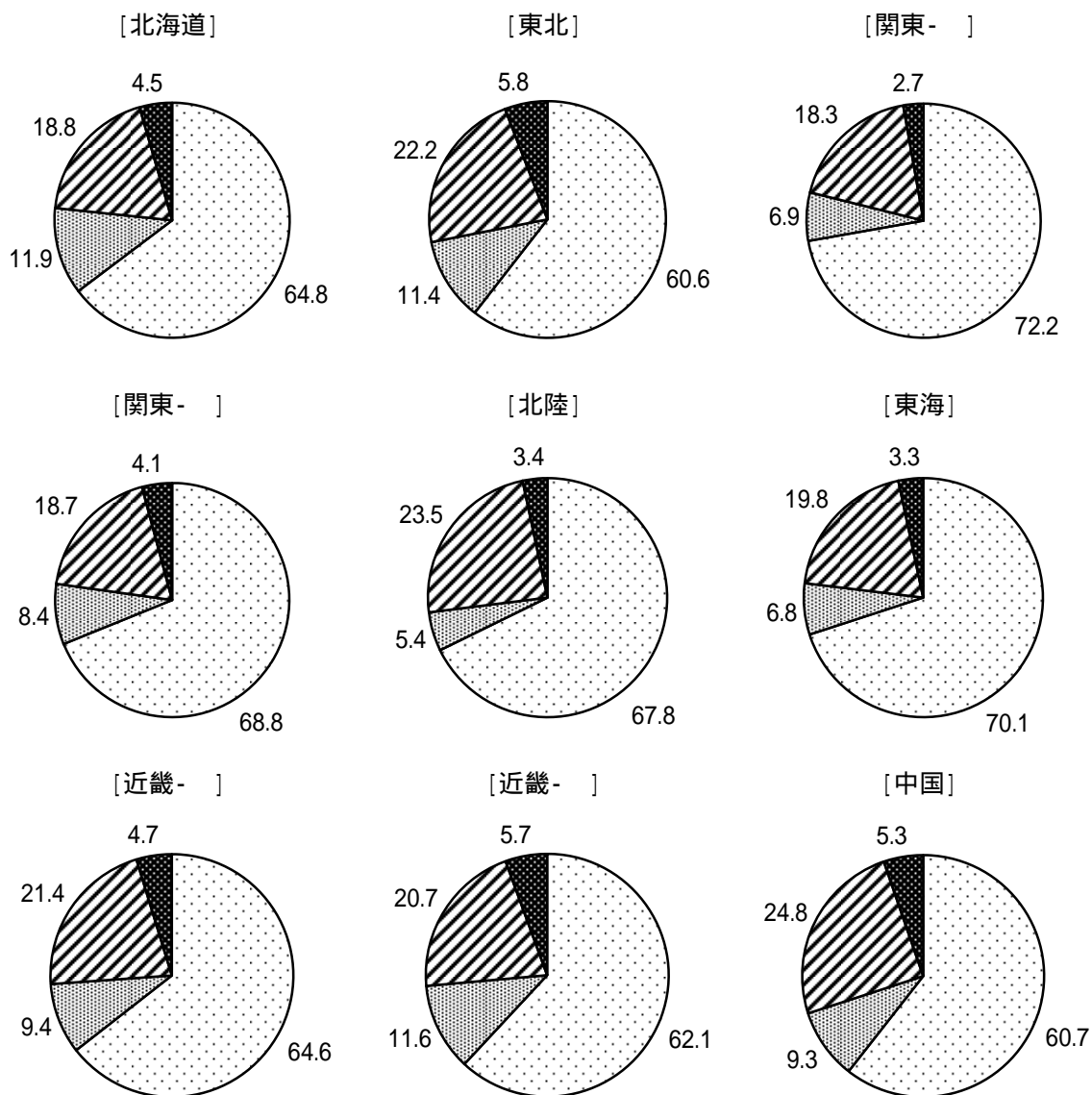


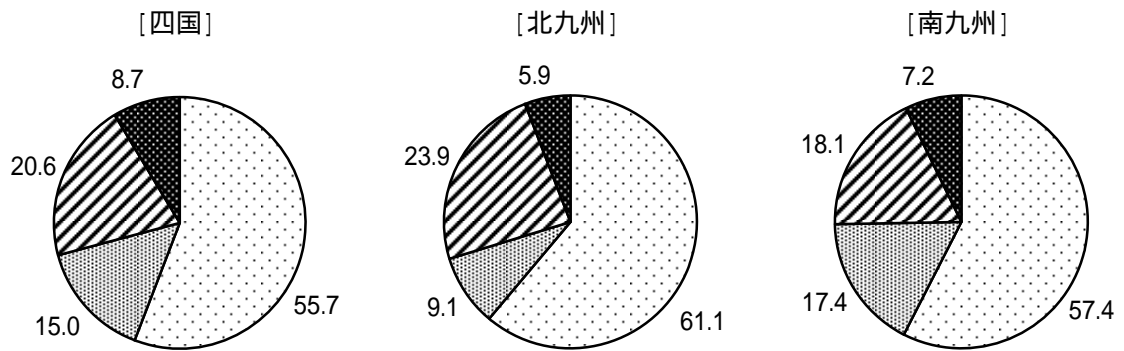
市郡別にみると、「1.健良・経良」が「人口 5 万人未満の市」61.3%、「郡部」61.3%で「大都市」67.4%、「人口 15 万人未満の市」67.7%、「人口 5-15 万人未満の市」66.8%に比べてやや少ない。



□ 1.健良・経良 ▨ 2.健良・経悪 ▩ 3.健悪・経良 ■ 4.健悪・経悪

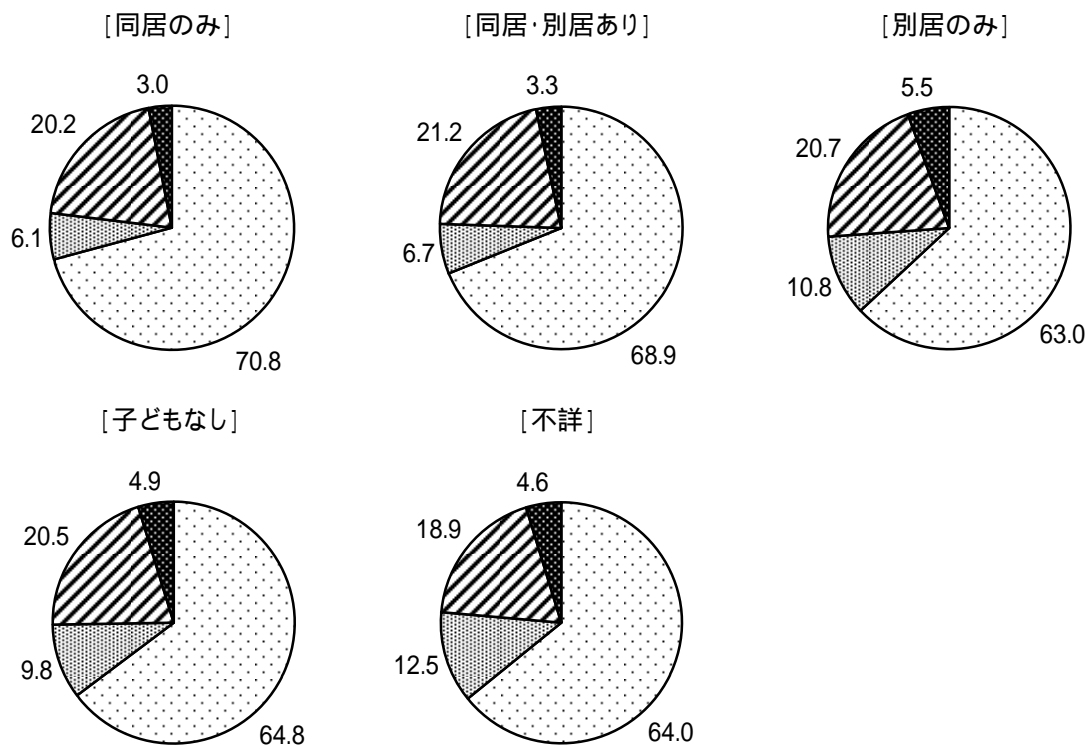
ブロック別にみると「1.健良・経良」は「関東-」だけが72.2%で7割台と最も多い。一方、「4.健悪・経悪」が5%以上なのは、「東北」5.8%、「近畿-」5.7%、「中国」5.3%、「四国」8.7%、「北九州」5.9%、「南九州」7.2%の6ブロックとなっている。





□ 1.健良・経良 ▨ 2.健良・経悪 ▩ 3.健悪・経良 ■ 4.健悪・経悪

子どもの有無によって4グループの構成比に顕著な差はみられない。



□ 1.健良・経良 ▨ 2.健良・経悪 ▩ 3.健悪・経良 ■ 4.健悪・経悪